（日本産業規格Ａ４）

別紙様式第６号の２（第10条の９の２関係）（平19内府令79・全改、令元内府令14・令２内府令75・一部改正）

従　業　者　名　簿

氏　名	住　所	生年月日	従業者証明書番号	主たる職務内容	貸金業務取扱主任者であるか否かの別	貸金業務取扱主任者登録番号	この事務所の従業者となった年月日	この事務所の従業者でなくなった年月日	貸付けの業務に１年以上従事した者に該当するか否かの別

（記載上の注意）

１　氏を改めた者においては、旧氏及び名を、氏名を記載する欄に括弧書で併せて記載することができる。

２　「従業者証明書番号」の欄には、法第12条の４第１項の証明書の番号を記載すること。

３　「貸金業務取扱主任者であるか否かの別」の欄には、貸金業務取扱主任者である者に○印をつけること。

４　貸金業者との雇用関係・雇用形態を問わず、当該営業所又は事務所において貸金業の業務に従事する者を記載すること。

５　記載すべき事由が発生した場合には、２週間以内に記載すること。なお、記載事項について変更、訂正等をするときは、変更、訂正等をする前の文字等は、読むことができるようにしておくこと。

６　「貸付けの業務に１年以上従事した者に該当するか否かの別」の欄には、貸付けの業務に１年以上従事している者（常勤の役員又は使用人であるものに限る。）に○印をつけること。